

新5カ年計画の進捗と今後の取組み

2020年11月18日
フタバ産業株式会社

- 1. 新5カ年計画の概要**
- 2. 新5カ年計画の取り組み**
- 3. 今後の取り組み**

1. 新5ヵ年計画の概要

3

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
体制整備	計画の確実な実施	計画の確実な実施	計画達成の 目途付け	計画達成

「よい品、より安く」を基本とした
新たな成長ステージ

基本姿勢

将来にわたり、成長性が期待できる分野へのリソースの重点投入と、収益性が期待できない分野の見直しを通じて、会社としての継続的成長を目指す

基本方針

- 「安全、品質、ものづくり」の基本の徹底
- 安定した収益確保のための構造改革と原価マネジメントの強化
- 拠点最適化と経営資源の効率的な配分
- コア技術の更なる進化と新規分野への活用
- 人材育成と組織力の強化

目指す姿

「挑戦する人
の集団」

「モノづくりで
社会に貢献」

「新しい価値を
世界へ提供」

1. 新5カ年計画の概要

4

2016年

2017年

2018年

2019年

2020年

新5カ年計画

将来に向けた成長戦略

当初計画

ものづくり改革 + マネジメント改革

効率化、管理面強化

2016年の新5カ年計画策定当初は、成長戦略より
足元固めとして
「効率化・管理面強化を重視」

2. 新5カ年計画基本方針に対する取り組み

5

新5カ年計画基本方針	2016	2017	2018	2019	2020
①「安全、品質、ものづくり」の基本の徹底		モノづくりの強化を通じた収益構造改革 不採算部品・工程内不良の低減 グローバル展開 * FMS : Futaba Management Standard (=FUTABA業務品質管理標準) 品質保証規則、* FMSの展開 標準化活動			
②安定した収益確保のための構造改革と原価マネジメントの強化		疑似事業部体制における企画と節目管理 経営の意思決定プロセス改革 会議体の見直し 決裁システム構築 予算管理の展開・定着 金型事業の収益管理強化			
③拠点最適化と経営資源の効率的な配分		拠点統廃合 グローバル事業計画			
④コア技術の更なる進化と新規分野への活用		農業ブランド (agleaf) の立ち上げ ホットスタンプ量産拡大 ボデー系 三位一体活動 モジュラー化マフラ			
⑤人材育成と組織力の強化		階層別、機能別教育体系構築 働き方改革：TQM導入 帰属意識の浸透：FUTABA WAY			

2-①. 「安全・品質・ものづくり」の基本の徹底

6

■ 生産状況見える化のグローバル展開

【ねらい】

生産実績記録の手書き入力廃止とタイムリーな生産実績の見える化

【今後取り組み】

中国全拠点でタブレット導入による運用開始
(2021年4月～)

⇒今後グローバルで導入予定



■ グローバルでの生産性評価制度の構築

【ねらい】

競争力強化に向け、生産性の絶対評価の仕組みを構築し分析・改善につなげる

【現状の課題】

各拠点の生産性の評価基準が曖昧であり、目指すべき目標が不明確

【今後取り組み】

原価改善により効果的な『基準時間』と『基準投資額』の設定方法改善

2-①. 「安全・品質・ものづくり」の基本の徹底

7

■ 新型コロナ禍を機とした製造現場の取り組み

新型コロナ禍の影響により売上高減となったが、変動費は売上高に追従できた

『ピンチをチャンスに変える！』取り組み

多能工化の実施

- ・担当作業以外の作業教育
- ・工場間をまたいだ生産負荷大ライン応援

など



プレスオペレーター多能工化教育

改善の前倒し

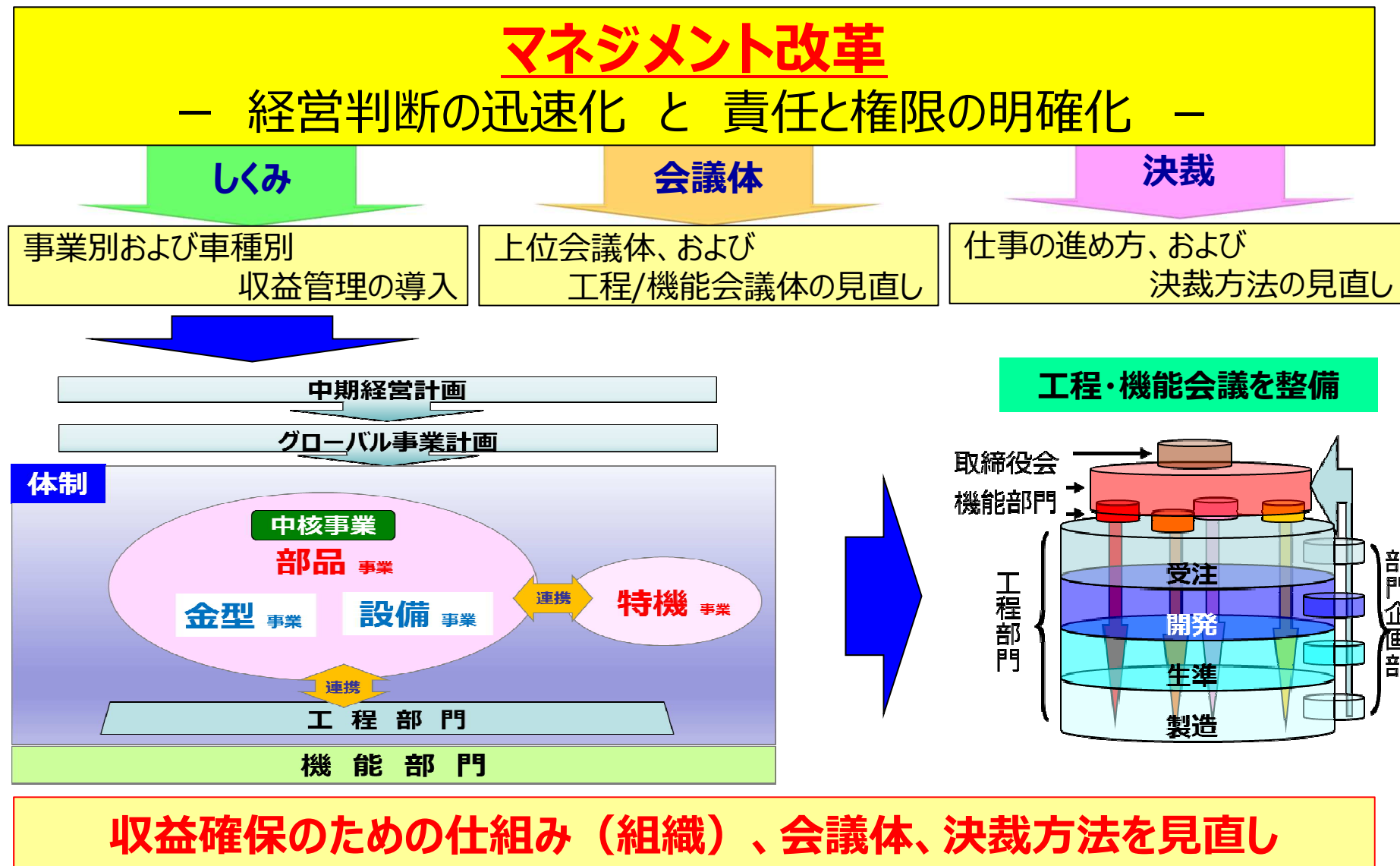
- ・構内物流改善
- ・要領書作成による作業標準化
- ・部品シュート改善による荷箱交換時間短縮
- ・不要な治具・型の整理による生産スペース確保 など

仕事量が戻った時に備え、改善の前倒しにより労務費を抑えた要員管理強化

2-②. 安定した収益確保のための構造改革と原価マネジメントの強化

8

■ 経営の意思決定プロセスの見直し



2-③. 拠点最適化と経営資源の効率的な配分

9

地域	主にやってきたこと
北米	・統括会社機能強化
欧州	・欧州統括機能の設置 ・英国子会社の1社化 (FMUK) ・ローカル主導による収益構造改革 (FCZ)
中国	・天津双協スリム化 ・重慶福達巴持分譲渡 ・東莞双叶スリム化 ・雙葉科技ハ°-ハ°-カンパ°ニー化および減資
アジア	【インド】 ・新会社設立 (FIG) ・ERP導入 (FMI、FIG) 【インドネシア】 ・現地主導による収益構造改革 (FII)
日本	・フタバ九州本社移転 ・(株)アピックスから(株)フタバ須美に商号変更

2019年度は各地域セグメントにおいて黒字化となった

2-③. 拠点最適化と経営資源の効率的な配分

10

今後は拠点単位の収益改善に向け、更なる取り組みを強化

地域	現在取り組んでいること
北米	現地主導による ・合理化、収益管理、現場管理の更なる向上による体質強化 ・北米マネジメント改革（経営の意思決定の迅速化）
欧州	・UK事業環境を踏まえた競争力向上（FMUK） ・累損解消を目指した現地主導の更なる原価低減（FCZ）
中国	・客先の増産および高付加価値製品の受け入れ体制構築（広州双葉の拡張） ・統括機能の2極（天津・広州）体制による更なる効率化（常州閉鎖）
アジア	・ERP運用による統合的な経営管理レベルの向上（FMI、FIG） ・客先ニーズに合わせた規模拡大（FIG） ・生産台数変動に対応できる体制の構築（FII）
日本	・子会社（九州、平泉、須美）のBCP対応を含む三河地区生産拠点の最適化

2-④. コア技術の更なる進化と新規分野の活用

11

■ 生産技術/製造技術の深化

【ねらい】 フタバの強みである、“TPS”、“現場力”、“改善力”を活かしデジタル技術を付加することで、“改善のスピードアップ”、“生産技術/製造技術の深化”を図る

- ・生産現場の情報をデジタル化し、見える化することで情報収集・分析のスピードアップを図り、**人は解析・改善などの付加価値の高い仕事に注力**
- ・より多くの情報（ビッグデータ）を使い、より質の高い解析をすることで有効な情報を抽出、**人が原理原則に基づき判断し、工程・設備を変える**

**安全！止まらない！不良を造らない工場
（スマートファクトリー）**

早く気づき、早く改善



**デジタル技術を活用して
見える化、解析**

生産技術/製造技術を深化
工程・設備を変える

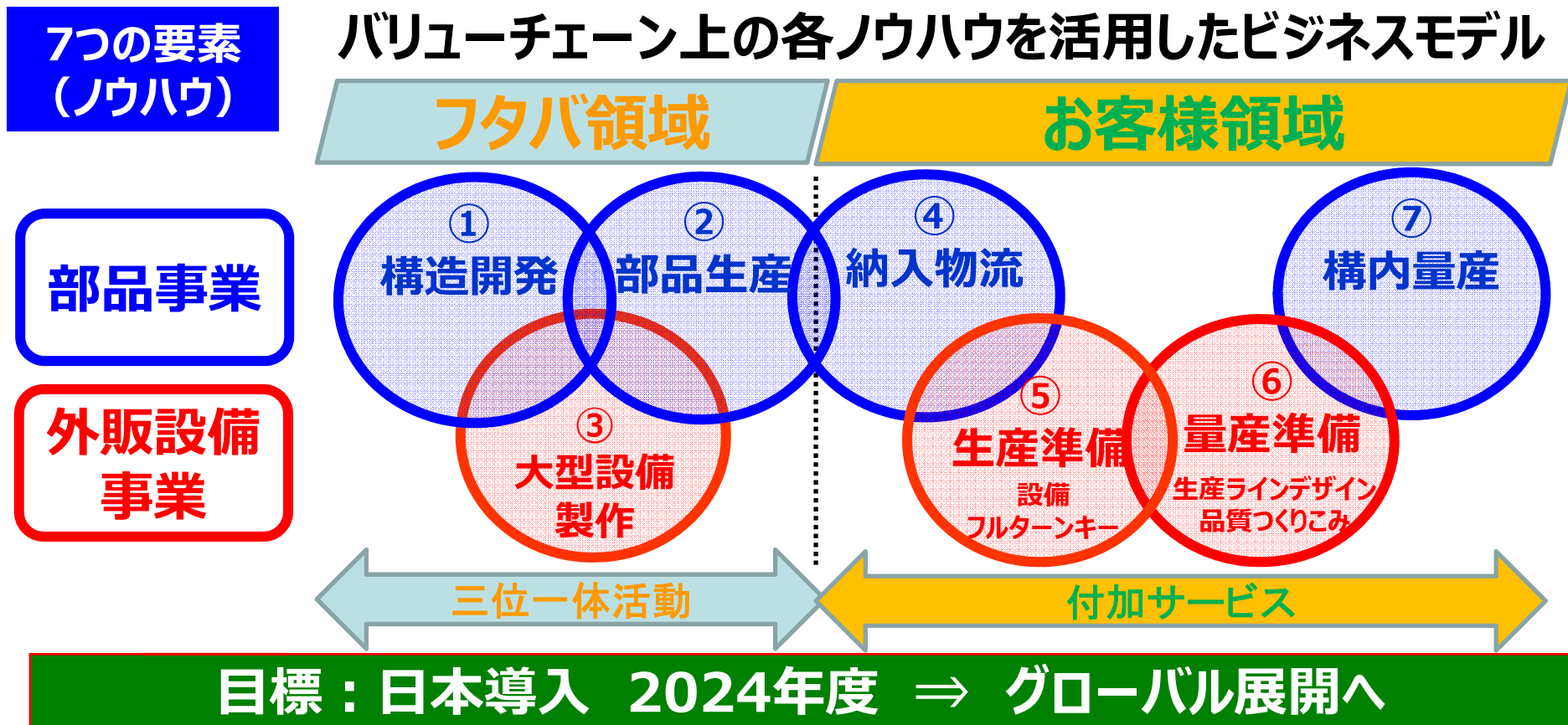


2-④. コア技術の更なる進化と新規分野の活用

12

■ ボデー系商品の新たなビジネスモデル（高付加価値化）

フタバが保有する7つの要素（ノウハウ）を組み合わせ、
従来の「つくって納める」だけでなく、+アルファ（付加価値）を加えた
スキームをお客様へご提案



2-⑤. 人材育成と組織力の強化

13

■ 帰属意識の強化

THE FUTABA WAY 2017の発行と浸透

ねらい：新たな成長ステージへ向かうために、フタバの「共通の価値観」と「基本行動原則」を“カタチ＝明文化”し、浸透活動を実施

■ 人事制度の見直し（2021年1月～）



若手登用によるグローバルでの経営品質の向上を目指す

2-⑤. 人材育成と組織力の強化

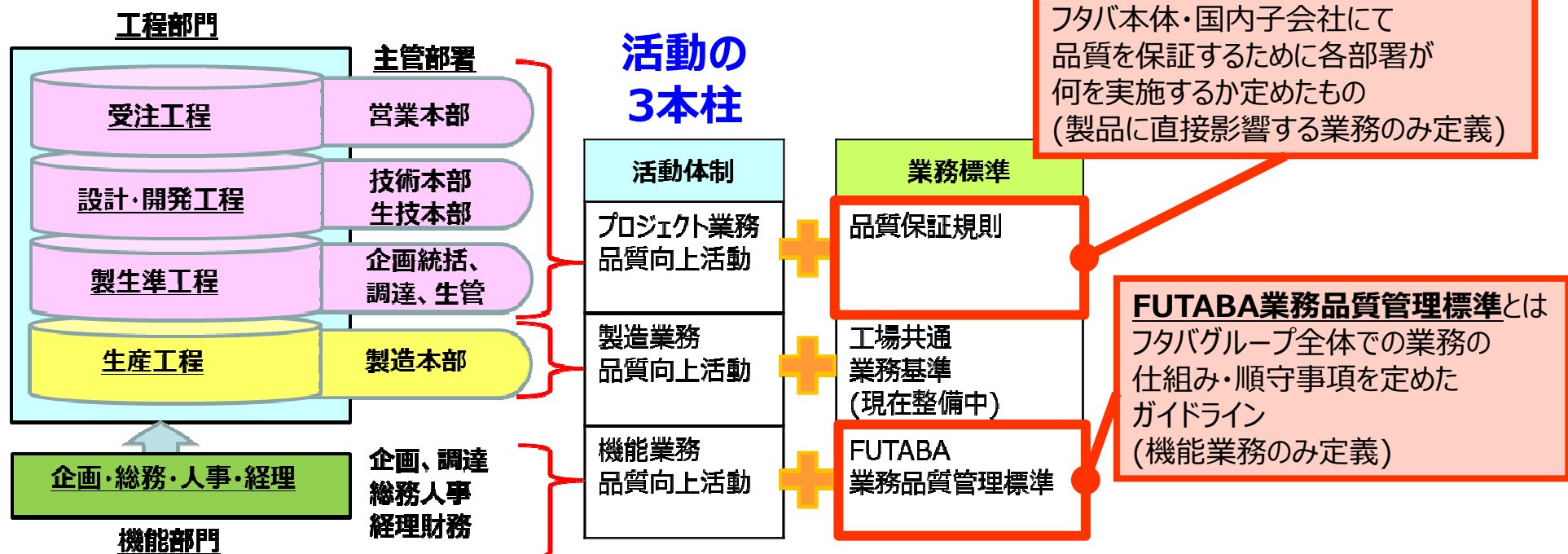
14

■ 業務品質向上を目指したTQM活動

ねらい：仕事の役割責任やプロセスを明確にし、お客様（後工程）に迷惑をかけない様、更なる業務品質を目指す

活動方法：各活動で基準となる業務（管理標準など）と現状の業務を比較し、業務維持管理に不足している業務、リスクが高い業務に対して改善実施

【活動体系】

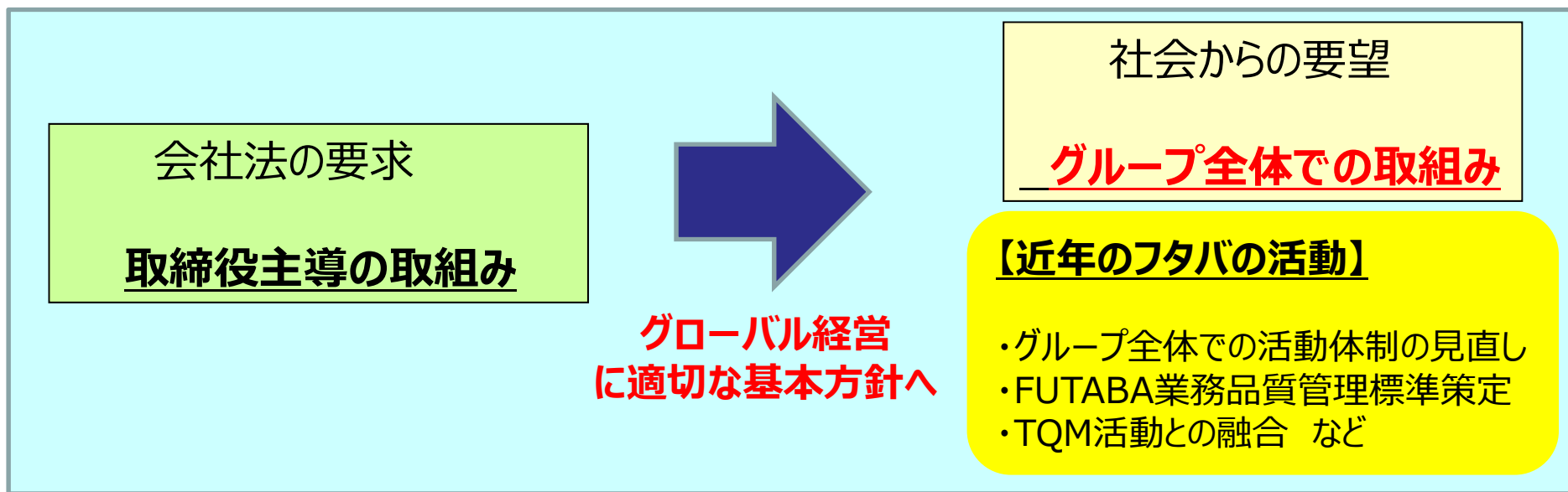


2-⑤. 人材育成と組織力の強化

15

■ 組織力の強化（内部統制基本方針の改訂）

ねらい：内部統制を向上するための現在の取り組みの考え方、概要を明記し、フタバグループとしての連携を高め、組織力を強化する



組織力の強化

持続的に成長できるようにグループ全体で取り組んでいきます

2. 新5カ年計画基本方針に対する取り組み（まとめ）

16

■新5カ年計画 総括

2016年

2017年

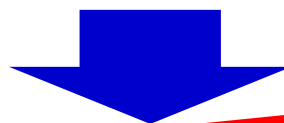
2018年

2019年

2020年

新5カ年計画

新5カ年計画にて効率化および管理面強化により、
「経営・収益基盤の礎を築くことができた」



効率化、管理面強化
～経営・収益基盤の足元固め～

将来に向けた成長戦略
～取り巻く環境を踏まえた
課題対応～

効率化・管理面強化による足元固めをしつつ、2018年より
重点においた「将来の成長に向けた取り組み」を来年以降も継続

3. 今後の取り組み

17

■SDGsの取り組み

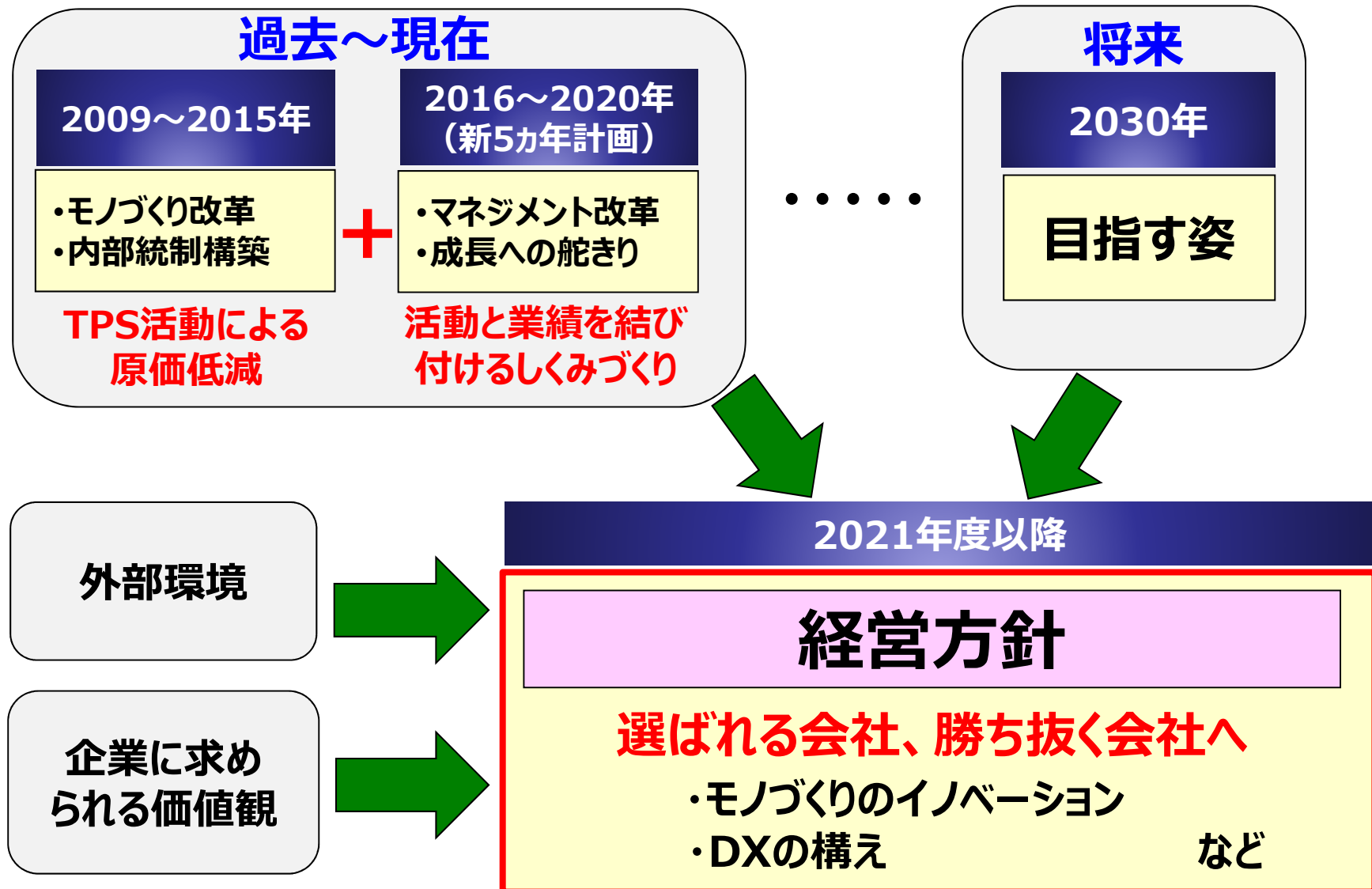
最優先に取り組むSDGsのゴールを選定、**戦略的SDGs**と位置付けて公表しました。
全社で重要課題・テーマ(マテリアリティ)の選定、目標・KPIの設定に取り組んでいます。



3. 今後の取り組み

18

■ 2021年度以降の経営方針の検討



FUTABA

フタバ産業株式会社

<http://www.futabasangyo.com/>